

財団法人 日本サッカー協会
平成 20 年度 第 10 回理事会

協議事項

1. 日本サッカー後援会 会員表彰の件

(協議)資料 1

日本サッカー後援会会員として 30 年在籍した者に対し、日本サッカー協会として、永年にわたる援助に対する感謝として以下の通り実施する。尚、本表彰制度は 2008 年より実施している。

対象者：2009 年 48 名 *別紙参照
感謝状及び記念トロフィーの贈呈
年間のうち、日本代表戦を 1 試合ご招待
J F A ニュースで表彰対象者の名前を掲載

参 考：日本サッカー後援会からの後援金収入

平成 15 年度	¥ 58,000,000
平成 16 年度	¥ 60,000,000
平成 17 年度	¥ 60,000,000
平成 18 年度	¥ 55,000,000
平成 19 年度	¥ 52,000,000

2. グアム向け G K 指導者派遣の件

東アジアサッカー選手権 2010 予選大会 (大会期間：2009 年 3 月 11 日～15 日、参加チーム：グアム、マカオ、モンゴル、北マリアナ諸島) をホストするグアムサッカー協会からの要望を受け、アジア貢献事業の一環として、下記指導者を派遣する。

派遣者： 柳楽 雅幸 (マシラ マサキ)
(U-17 日本代表 G K コーチ、ナショナルトレセンコーチ東海 G K チーフ)

資格： 公認 A 級コーチジェネラル、公認ゴールキーパー A 級コーチ

役 職： グアム代表チーム G K コーチ

派遣期間： 2009 年 2 月 16 日～2 月 26 日

費用負担： 日本 グアム間の航空券、グアムでの滞在費・移動費は、グアムサッカー協会が負担する。

尚、グアム代表チームの監督は、アジア貢献事業で派遣している築館 範男(ツチノ 川)氏である。

3. 2009年ナショナルコーチングスタッフの件

[なでしこジャパン（日本女子代表）]

監督：佐々木 則夫

コーチ：望月 聡[びわ湖成蹊スポーツ大学]

GKコーチ：前田 信弘

[U-19 日本女子代表（U-20 女子ワールドカップドイツ 2010）]

監督：佐々木 則夫

コーチ：堀野 博幸[早稲田大学]

GKコーチ：前田 信弘

[U-16 日本女子代表（U-17 女子ワールドカップトリニダード・トバゴ 2010）]

監督：吉田 弘[常葉橘学園]

コーチ：高倉 麻子

GKコーチ：川島 透[金光第一高等学校]

* なでしこ全カテゴリー（U19、U16 を含む）のフィジカルコーチを調整中

4. 育成年代の指導者の育成・強化の件

育成年代の指導の核となる人材を養成し、全国各地で質の高い指導ができる人材（指導者）を養成する。また、育成年代の指導に携わる指導者がリスpektされる環境作りにも取り組みながら、現在の指導者養成の課題を踏まえ、具体的に以下項目に取り組む。

課題

- ・指導者の質の向上
- ・人間教育を含めた育成
- ・専門性へのアプローチ（育成のスペシャリスト）
- ・育成コーチのライセンス体系の見直し

今後の取り組み

【指導者の交流】

- ・ナショナルトレセンコーチとJクラブの情報交換、課題抽出、コンセプトの共有、現場交流

【海外研修】

- ・ナショナルトレセンコーチ、指導者養成インストラクター、Jクラブ育成指導者他

【海外研修の都道府県協会への展開と研修機会の拡大】

- ・フィジカルフィットネス、コーディネーション、サイコロジなど

【指導者の育成と活動場所の拡大】

- ・モデル地区トレセンの拡大など

【4種リーグ参加チーム指導者向け、講習会・研修会の開催】

- ・4種に関わる指導者へのアプローチ

5. 大学・専門学校における指導者養成講習会の件

開設申請のあった以下の大学について審査の結果、公認C級コーチ養成講習会の開設を認める。

1. 新潟医療福祉大学（新潟県）（C級）

インストラクター：若杉 透（JFAインストラクター） 公認S級コーチ

参考：開設認定校数 大学：27校（上記を含む） 短大：2校 専門学校：16校